

温暖化対策・環境創造・資源循環委員会行政視察について(案)

1 視察期間

平成29年11月7日（火）～9日（木）

2 視察先

- ・ J I C A フィリピン事務所
- ・ 株式会社グーン セブ工場
- ・ メトロセブ開発調整委員会
- ・ 腐敗槽汚泥の脱水機装置（セブ市）
- ・ メトロセブ水道区

3 視察理由

(1) J I C A フィリピン事務所

本市は、包括連携協定を締結した J I C A と連携しながら、姉妹都市（マニラ市）や Y - P O R T 事業（セブ市）、シティネット（イロイロ市）等の二都市間及び都市間ネットワークを生かして、国際技術協力や市内企業の海外展開支援を進めている。

また、平成24年3月にセブ市と技術協力の覚書を締結し、J I C A との連携により新たな長期開発ビジョン「メガセブ・ビジョン2050」及び「メガセブ・ロードマップ2050」の策定を支援するとともに、今回視察予定の株式会社グーン セブ工場及び腐敗槽汚泥の脱水機装置（セブ市）の展開についても、連携しながら支援してきたところである。

上記を踏まえて、本市との国際技術協力や市内企業の海外展開支援について、説明聴取や意見交換を行い、本市の今後の取り組みにつなげていく。

(2) 株式会社グーン セブ工場

市内企業株式会社グーンは、本市との合同現地調査や J I C A の普及・実証事業など、廃プラスチックを選別・粉碎し、石炭の代替燃料を製造するリサイクル事業を展開してきた。

また、同企業は環境省の支援のもと、平成29年5月に新たな廃プラスチックリサイクル工場を整備し、事業を開始した。

当該施設の視察や説明聴取、意見交換を通じ、セブ市で大きな問題となっている最終処分場のひっ迫などの廃棄物課題について、ニーズの把握や Y - P O R T で初めて事業化した施設を確認しながら市内企業進出のプロセスや課題を共有する。

(3) メトロセブ開発調整委員会

本市は、セブ市と、環境に配慮した持続可能な都市発展に向けた技術協力に関する覚書を交わすなど、公民連携による技術協力を進めている。これまでに、セブ市を含むメトロセブ開発調整委員会をメトロセブ側の実施機関としてメトロセブの都市づくりに向けた開発ビジョンやロードマップの策定を支援してきており、この開発ロードマップにおいて、廃棄物管理や汚泥処理施設の整備がメトロセブの優先事業に位置づけられている。

上記を踏まえて、メトロセブにおける廃棄物処理の現状と課題、本市との協力関係及び市内企業の進出について、説明聴取や意見交換を行い、本市の今後の取り組みにつなげていく。

(4) 腐敗槽汚泥の脱水機装置（セブ市）

本市とセブ市との都市間協力の枠組みのもと、平成24年度から平成27年度にかけて市内企業アムコン株式会社が汚泥脱水機装置の現地実証を実施した。この実証事業は、セブ市をはじめとするセブ都市圏の自治体や、下水・汚泥処理を所管する公共事業・道路省から高い評価を得ている。

また、本市が策定に協力し、フィリピン国政府の承認を得たメトロセブの長期総合開発計画「メガセブ・ロードマップ2050」に、汚泥処理施設整備が短期かつ優先事業として位置付けられている。

都市間協力の枠組みによる国際協力の成功事例の視察を行い、その取り組み状況を確認するとともに、課題やニーズを把握し、本市の技術を活用したさらなる公民連携による国際協力の取り組みにつなげていく。

(5) メトロセブ水道区

本市は、セブ市における市内企業アムコン株式会社による実証事業の成果を生かして、汚泥処理施設の整備に係る事業提案をJICAに行った。今年度から事業化に向けたJICA調査が、メトロセブの水道事業体であるメトロセブ水道区とともに進められる予定である。

上記を踏まえて、メトロセブにおける下水処理の現状と課題等について、説明聴取や意見交換を行い、本市の今後の取り組みにつなげていく。

4 視察項目

(1) JICAフィリピン事務所

本市との国際技術協力や市内企業の海外展開支援について、説明聴取及び意見交換

(2) 株式会社グーン セブ工場

廃プラスチックリサイクル工場について、説明聴取、意見交換及び現場視察

(3) メトロセブ開発調整委員会

メトロセブにおける廃棄物処理の現状と課題、本市との協力関係及び市内企業の進出について、説明聴取及び意見交換

(4) 腐敗槽汚泥の脱水機装置（セブ市）

腐敗槽汚泥の脱水機装置について、説明聴取、意見交換及び現場視察

(5) メトロセブ水道区

メトロセブにおける下水処理の現状と課題、本市との協力関係及び市内企業の進出について、説明聴取及び意見交換